

東芝メディカルシステムズ
プレミアム超音波装置・Aplio iシリーズの新製品「Aplio i600」発売
(2017.05.18)

●新製品の特徴

1. 新開発のプローブでさらに充実のプローブバリエーション
新たに開発した、わずか9ミリ幅の世界最小体表接触面のコンベックス式電子スキャンプローブPVT-482BTは、肋間走査の際に体表との接触を保ちやすく(図1)、またプローブ自体の重量を約40%削減(同社従来比)し軽量化したため、検査の効率を高めると共に検査者の負担を軽減する。
2. 病院内モバイルに最適なバッテリーを搭載可能
コンセントを抜いても電源を入れた状態を30分程度保持できる。
3. 豊富な臨床アプリケーション
低速で微細な血流を描出できる同社独自の血流イメージング技術「SMI」を搭載している



Aplio i600